京城新報

人の一生は重き荷を負うて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

發行所　京城新報社
仁川支局
東京支局

面及洞に關する舊慣制度（四）（朝鮮總督府調査）

甲午（開國五百四年）前に於ける面洞の機關

舊制時代に於ける面洞の機關は頗る單純なるものゝ如きも制度の不實行と地方官の專橫及び貴族即ち兩班專制の風習とに面又は洞の如き村治行政の上に必ずや幾多の變遷と影響とを與へたるなるべく今日面洞制の調査に就て其の機關の複雜にして名稱の繁多なる殆んど之れが收集綜合の不可能を感ぜしむるが如きは畢竟之れが爲ならざるべし今甲午前に於ける面及洞の機關の大要を舉ぐれば左の如し

（一）面又は洞行政の執行を監視し郡内の面職を掌るもの　面にありては郡守位、都執綱、都約憲、別約憲、上有司、面首等と稱す、洞にありては尊位、執綱、頭民、洞首等と稱ず面又は洞の長老を以て之に任ず其選任は面又は洞民の爲選に係る

（二）面又は洞の行政執行に當るもの　面にありては執綱、風憲、面任、都尹、約正、檢督、坊首、坊長、社長等と稱す洞に在りては里正、洞首、尊位、統首、約首、領座、頭民等の稱あり、面又は洞内有力者の推薦（洞にありては面を經由す）に依り守令之を任命す

（三）面又は洞行政の執行を補助するもの　此機關は常時之を置くあり又臨時必要の場合に之を置くもあり而して面に在ては公有司、都往比、風憲、社首、約正、副尹等と稱し多くは租稅の取立社還米の出納等主として財務を分擔す其の選任は面長の推薦に基く守令の任命又は人民の公選に依る、洞に在つては尊務、任員、公員、都有司等の稱あり其選任方法は大畧面に同じ

（四）郡衙と面との間に於ける公文書の送達に任するもの　面主人、坊主人、食主人と稱す郡衙の使介之を兼ね

（五）面又は洞の雜役に任ずる者　面には動農、有司、下有司、下所任、所任小任、使喚、面隷、房子、面掌等あり洞には所任、下所任、有司、下有司、使喚、里隷、里任、洞下、洞掌等の稱あり

（六）面又は洞に於ける重要なる事項に關し協議機關たる會議に列するもの　面にありては面會と稱し洞に在りては洞會と稱す面會には面の長老重なる職員及び嘗て面の職員たりしもの並に知事人解事人等と稱する面内有力者にして洞は又洞内の長老洞職員其他洞内の有力者なりとす

以上は最も普通なる機關を示すと雖も術は都鄙の別に依り繁閑の差あり即ち邑を爲せる面に於て概して以上各種の機關を具備せる鄙の面にありては多く第三の補助機關を缺き又第一の長老監視機關をも缺くを普通 せるもの、如し

雜錄

●碧蹄館の一日（下）　エム、エー生

正午碧蹄館に達した、館は高丘の下に南面し例に依つて紅色や靑色、彩られ扁額は朽ち壁は落ちて古色蒼然追懷の念を强からしめた、即ちコダックとりて紀念の撮影をした丘上に小早川隆景の掛甲樹がある獨り附近の群象に秀でて當年の英雄を語つて居る、見渡せば行先は群山環立し、峯巒再び重疊して高陽や中原の咽喉を成して居る、帶甲三十萬白刃ひらめき、旌旗亂れ喊聲天地を撼かした當年の活劇はどうであつたらう、斷雲低く飛んで征馬跼蹐し、ふり積る雪を血汐の煙りに染めた文祿二年正月二十七日のシーンスは今こゝに吾人が腦裡に新なる印象を刻むのである、アゝされど〳〵吾人は失望した、我等が百世に武勇を誇り痛快を叫ぶ碧蹄里の古戰場は、かくも平凡にかくも無情であるのか、大なる自然の進化は平等に人事の總てを甜めて了ふ、星霜三百有余年、骨は朽ち肉は爛れ、山は壞ずれて野は滅ぶる、而し勇士の烈魂は千秋不滅である我が國民の元素でなくてはならぬ、然るに我等が此肉を躍らし血を湧かす曠古の紀念は哀れ自然の推滅に任せてある、秋風徒らに吹いて一基の卵塔に永久の恨みを愬むるすべもてなし鬼哭空しく天に訴へて遊魂をてしれに歸する所がない、かくては戰に勇み歷史を尙ぶ大和民族の本領を沒却するのではあるまいか、ここ切に有志の反省を望む。

低徊顧望又來る時があらうか、さらば野よ花よ、物言はぬ友よ、汝と我との對象は短く淡く茲に消へて再び天地の悠久に歸らねばならぬ………歸途薔把撥里についた頃は、夕陽將に沒せんとして西山の巔より數條の鐵線を發射し、山空一帶紅にあらず紅にあらず唯此瞬間に於て認め得べき莊嚴の色彩を滿へ人をして自ら幽高の感を抱かしむ、白楊風に梳りて冷氣肌を襲ひあちこちの茅屋にはかすかに夕餉の煙を滿して居る、大分足が痛むうしてひもじい喉も乾く、おまけに夜の幕は全く閉されてしまつた、是から二里の山路を星あかりに照らして辿るのだ、一寸躓づいても倒れそうになつた、しかし久かたぶりの遠征に生氣の笑を湛へた一同は路芝にれく露の袂冷しく足を西小門外に回した。

外事一束

△土國　內閣辭職し新にサイド、パシヤ宰相にキアミル外相ヒルミ內相になる
△伊國　政府聲言して曰く巴爾幹の土領は絕對に占領せずとの保證を與ふと
△キな　歐州列國は時局に關し互に意見を交換したるが其結果今回の問題
△阿　弗利加の一局部に限定せしめんとの意見に一致せりと可能かは疑問
△土耳　古政府は列國に回章を發して再び干涉を求めたり、脆弱き事甚し哉
△伊國　艦隊遂艦はトリポリ要塞に降服を要求したるも司令官之を拒絕したり
△伊國　遠征軍隊總て三萬五千八歩兵八聯隊及騎砲工を具しトリポリに向ふ
△慶耶　辭意固く後任那桐を推擧したるも又々辭表却下され優詔を蒙れりと
△盛●　江橋開通後南滿洲鐵道直通交涉清國側の抗議あるも解決を見ん

梁川庄八　小金井蘆洲演

第二回

德川家康が天下を併呑なさんの野心、歷々として來ましたから、茲に石田治部少輔三成は西國中國を語らい、且又奧州會津及び出羽の米澤の城主、上杉中納言景勝を誑き味方に引入れ、並に常陸水戶の城主佐竹左中將義宣と結び德川の野[illegible]を討たんと企た、先づ上杉景勝は會津に籠城をして、萬一德川家の下知に應ぜざる色を現はしまーたるより、出羽山形の城主最上出羽守義光奧州仙臺の城主伊達越前守政宗此兩家から德川家へ上杉景勝籠城の趣を認めて、注進櫛の齒を曳くが如し、夫は容易ならざる事なり迚、家康自ら大軍を率ひて、上杉征討として野州小山まで發向に及ばれました、是から會津へ攻掛ろうと云ふ折柄、石田三成は豫て上杉と牒し合せ置たる事ですから、東西相應じて上方に亂を起し、山城國伏見城に攻め掛つた、城將鳥居彥右衛門元忠力及ばず戰死を致し、伏見城は陷落を致しました、そこで石田三成は關東德川へ心を寄する者の妻子を擒にして、愈々德川征伐として、美濃國安八郡關ヶ原迄兵を繰出すと云事に成りました、此趣を野州小山に家康[illegible]に寄て聞かれ、益々安からざる一大事なり、我れ今上杉景勝を征伐して居らば、石田は必ず大擧して關東に押寄するは鏡に掛て見る如し、此上は早々上方へ人馬を進めて、先づ石田を亡ぼし然る後ち、上杉に及ぼすべしと決しましたが倘し景勝が、其虛に乘ずる樣な事があつては夫社大事と、思たから景勝防禦之儀を、伊達最上の兩家へ御頼みに相成りまして、加之下總國結城の城主結城三河守秀康を殿として、家康は江戶を引上げ直ぐに關ヶ原へ向はれた、九月十五日關靑野ヶ原の戰は、石田の軍勢一時刻あるやふでしたが、何分にも紀律が整はぬのみならず、時機が早かつた、彼の金吾中納言秀秋の裏切、大谷刑部少輔義隆の自害等にて、軍氣沮み其上、石田三成、安國寺惠瓊、小西行長、長曾我部宮內少輔盛親、生擒となりましたの上方勢では總敗軍此戰は僅か一日で終たのです、委しくは關ヶ原軍記で盡してありますから、ほんの概略を述べたのです其關ヶ原合戰中に、伊達政宗は上杉景勝の子城で、奧州白石の城主甘糟近江守と云、上杉家の老臣の籠て居る城を手勢三千人を持て第二第三に攻立ました、攸ち落城をいたし近江守は、命から〳〵福島をさして逃込んだ、福島城は柿崎和泉守が守て居たのです、柿崎甘糟の兩將力を併せて必死となつて戰ひましたけれ共、勝誇りたる伊達家の勢ひエーヤ〳〵と揉み〳〵揉んで攻立てたるより、何條以て堪るべきや防御の手術もなく、是又落城致しました、愈々猛威を震ひ仙臺勢、其外子城九六ヶ所を攻落し、福島城を根城となし夫部松川迄人數々繰り出す、上杉景勝は白石福島其他の合戰、凡て味方の敗軍に歸したる注進を聞及び、斯は容易ならじ謙信以來の弓矢を以て、伊達勢を一擧に蹂倒し進んで、仙臺城を一擧の下に蹂躙して遺恨を晴らし呉んと、自から三万五千と云ふ大軍率ひまして奧州會津若松を出發に及びました、宛然巨蟒の草叢を進むの有樣、白河を越へ二本松を平押しに松川迄押寄せて來た、時は將に慶長五年九月廿三日、伊達勢八千餘人爰に衝突致し、初更の頃より戰を始め双方入亂れ、肩々相磨しど云有樣奮擊突戰で有ましたが、景勝は謙信以來の弓矢の師立、加之三萬五千の軍勢孰れも新手の勇兵、夫に引換へ仙臺勢は數日の城攻野戰に疲れ果たる軍勢、如何に新手の兵に[illegible]あらず、今迄は勝誇たるが[illegible]へました、會津勢は勢ひ[illegible]豪勢を稻麻竹葦の如く取圍[illegible]激らすな鏖殺にせよと攻立[illegible]旗本すら遂に敵の圍む所と[illegible]今は進退掛引の下知さへも[illegible]自ら陣刀を奮つて馬に跨り[illegible]を開かうと云程の苦戰、實に九死一生の鏖戰と相成りました、此時梁川庄兵衛正繁は率ゆる兵士は僅か足輕二百人の小勢ではあるが、日頃庄兵衛が[illegible]訓練が行居ひて居るから、少しも其下知に背くと云事なく、假令味方悉く討たれて一騎になる迄も敵に向て屍は[illegible]なん、我隊長を棄て、此場を遁れ汚名を千載に流さんやと、必死の場合に覺んでは一死以て君恩に酬ゆると云ふ覺悟、是れらが即ち武士道の眞髓とも云べきで御座います、左れば勝つも多少手疵は負ふては居るが割合に討死は少ない



京城新報

鮮臺米受渡代用(二)
取引所會の決議を難ず

鮮臺米を受渡代用米となす事の、國家經濟上及び國民全体の利益上より見て決して不合理ならざるは吾人前回に於て略敍せしも、翻つて之を實際上より立論せんか。定期市場に於ける受渡なるものは、普通最高値を唱へつゝある買方が、最安値を以て賣りし者との間に行はるゝものにして。受渡によつて起る紛議は此少數なる賣手買手の間に止まると雖も、之れが影響は期米界全体に波及し爲めに期米界の動搖を免れざるが常なり。斯る場合に際し、受渡代用米の範圍の小なる時は、忽ちに買占の弊を馴致し、取引所ことを多少の禁策を見るあらむも、買占によつて生ずる米價の暴騰は終に國民の生活難となりて社會全般の利益を傷害することの極めて大なるを想はざる可からず。否此が實例は過般既に我國民の前に呈示せられ、多數の國民をして戰慄せしめ又政府をして狼狽せしめしにあらずや。若し如此時に當つて、受渡米の範圍即ち代用米を擴張し、何れの米を以てするも自由に受渡をなすを得せしめば、買占の害毒を防止し聞て社會の公益を維持せられ、茲に始めて眞正なる市價の公定を見るに到るなり。政府が姑息ながらも端境期間中鮮臺米を受渡に代用すべき事を各定期市場に注意せしも蓋し吾人と見を同ふせるが爲ならずとせんや。而かも取引所なるものは本來公定相場を作るの機關にして、銘柄を以て賣買するを目的とせるものにあらず。故に出來得る限り受渡米の範圍を擴張し以て市價公定市場たるの機能を全ふせざる可からざるなり。特に取引所當事者たるものは、米價公定機關としての取引所が米作改良に至大の關係を有しをることを忘れざるを要す。凡て米の改良なるものが商業機關を離れて存在すべきものにあらざるは各府縣より往々米穀檢査の標準等に就て都會に於ける米穀取引所或は現物市場の意見及び批評を求むるものの多きと從來地方の官公吏が中央市場に於ける米の取引實況を觀察して之れが改良を圖り、爲めに市價を高むるに至りし幾多の例に照して之を知る可し。吾人は此見地よりして受渡米の範圍を可及的擴張なせば、產米改良の奬勵策として最も有効なるを信ず。況んや朝鮮米の如き近來著しく面目を革め全羅慶尙二道の產米は大坂現物市場にて中國米と敵して下らざるの價格を保ち、臺灣米亦移出米檢查規則の下に着々改良と施されつゝあるもの等に對しては益々其品質の改良と產額の增加を奬勵するの一手段として受渡代用米に加ふるは國家國民の幸福たる又個土經濟上實に必要なるに於てをや。更に鮮臺米受渡使用の結果內地米價位に激變を來す動機とならざるや否やの問題に就て曰はんか。現今本邦の米需要額は豐穰の歲と雖も巨額の不足を告げ年々不足を鮮臺米に仰ぎつゝある狀態なるを以て、取引所當事者の想ふが如き之に因り米價に激變を與ふるの虞決してなきのみならず。却つて內地米の改良を促がすの動機となり。內地米殖民地米兩々相俟つて進むの効益を見るを疑はさる也。上述の如く、鮮臺米の受渡代用は一時ならず永久に亘りて必要の理由あるにも拘はらず。取引所聯合會は之を否認せり、吾人は自個本位なる取引所聯合會の決議に對し、政府は宜しく反省を促がすに躊躇せざらむことを望むで已まず。

外國特電

●伊土戰爭問題●

▲砲擊開始 トリポリー 伊太利征土軍はトリポリー首都砲擊を開始し六萬の土耳古兵及亞拉比亞軍を包圍せる旨公表したり

▲伊國大砲輸送 伊太利はモンテネグロに多數の大砲輸送し居れり(以上二件羅馬發)

▲西國中立宣言 西班牙政府は十月二日を以て伊土戰爭に對して嚴正局外中立を守る旨宣言したり(伯林發)

▲米國艦隊出動 米國艦隊はトリポリーに向つて出動したり(コンスタンチノープル發)

▲伊國の言明 伊國政府はトリポリーを占領する迄は斷然交渉に應せずと言明せり然れども遠からず數個國の仲裁成立するならん(伯林發)

▲回基兩教爭鬪 伊土兩國の交戰は回々教と基督教の戰爭となり各地の回々教徒は一大神聖を組織し基督教徒に反抗すべしと一般に信ぜらる(倫敦發)

▲伊國の封鎖宣言 伊國政府は今回の交戰に付國際法の原則たる巴里宣言、倫敦宣言の規程に依りトリポリー國フロナイカの海岸は封鎖の狀態にある旨詳細各國政府に宣言したり

▲土國連絡斷絕 目下伊國海軍はトリポリーシレナイカ海岸を封鎖したり是れ事實上伊國トリポリー全部を占領したる者にして是れが爲め土國本國とトリポリーとは海上連絡全く斷絕し單に陸路連絡の便あるも地勢兵員武器彈藥輸送する能はず土國は今や孤立の姿となり伊國の掌中に歸したり(伯林發)

▲土軍の教徒煽動 トリポリー在の一個師團の土軍は武裝を爲し防禦の準備をなすと共に回々教徒土耳古人アラビア人ベタベリ人を煽動して大團体を組織し近き內にトリポリーに於て大なる報響的戰爭を行ふべしと豫期せらる(伯林發)

羅馬至急特電

▲トリポリー首都陷落 伊太利軍はトリポリー首都包圍攻擊の結果終に之を陷れ同軍は今や上陸しつゝあり尙伊本國より增援五万の軍隊は十日迄にトリポリーに到着の筈なり

東京電報

▲樞密院會議 四日樞密院に於て各顧問官參集の上會議を開き朝鮮總督府實業專門學校職員任用令につき審議し原案通り可決せり

雜報

●特別大演習諸官 來る十一月十一日より四日間 大元帥陛下御統裁の下に久留米を中心として擧行の陸軍特別大演習南北兩軍司令官及び中央部兩軍專屬審判官は過般參謀本部より各管下に通牒審議中なりしが此程決定し御親裁を經て所屬を定むる由なるが兩軍司令官及び審判官は左の如し

△軍司令官
陸軍大將 長谷川好道
同 川村景明

△審判官
陸軍大將 奥保鞏
同 中將 福島安正
同 井口省吾
同 藤井茂太
同 大澤界雄
陸軍少將 山田忠三郎
同 大島健一
同 重見熊雄
同 宇都宮太郎
同 大庭二郎
同 田中義一

因に兩軍參謀長は重見田中兩少將の說あるも一方には古參大佐中より任命せらるべしとの說あり

●寺內總督道程 五日午後三時新橋を出發の寺內總督は直行にて六日夜下關着一泊の上七日夜光濟丸搭乘下の關出帆八日朝釜山上陸直ちに特別列車に乘車午後六時南大門着入京の筈なりと

●貿易額(九月末日調) 本年一月より去る九月末日迄の輸移出入總高は五千百八十八萬六千八百八十九圓にして之を昨年同期の總高に比すれば約千餘万圓の增加なれば朝鮮貿易は非常に發展と云ふべし而して此內移出總高千四百七萬千四百六十餘圓輸移入總高三千二百二十三萬七千三百一圓なれば輸移入の超過は本年度に於て千八百餘萬圓なり御輸移出物品の重なるものは米穀及大豆にて輸移入品は石炭、日本製綿布、石油、麻布、小包郵便、棉花、機械類等なりと云ふ

●本年度の官營工事 本年度に於ける建築工事は總計二百餘万圓にて內譯昨年度の繰越金五十餘萬圓新營費百廿五万圓修繕費二十餘萬圓なるが其內重なるものは京城中學八萬圓裁判所及監獄二十萬圓警察十万圓總督府醫院七萬八千圓各地慈惠醫院三万圓留學生寄宿舍二萬圓師範學校寄宿舍一萬圓地方及驛屯倉庫八萬圓總督官邸七万圓地方廳三萬圓等にして最も費目の大なる裁判所總督府醫院及中學校等は既に殆んど竣成し其余の工事も最早幾何も殘す處なければ本年內に全部完成し只京城監獄の工事のみ明後年迄繼續すべしと云ふ

●舊慣取調狀態 總督府取調局に於ては爾來着々として舊慣調査に從事しつゝあり中には民事の爭ひ等起り慣例調査の必要上各裁判所より取調方を依賴し來る事もあり其の他必要に應じ調査しつゝあるが何をいふにも調査の範圍廣きと社會上に於ける參考書乏しきを以て一朝一夕に行はれ得べきに非ず相當年所を要するは勿論なるが唯朝鮮は舊時の日本の如く藩制なく國內一般に普遍的なるを以て地方々々に依りて風習制度の著しく相違せるものなく從つて比較的地方別の調査は容易にて又其調査の方法は古書に依り又は人を地方に派し實地に就きて見聞せしめ居れり參考書としては多々ありと雖も取調局設置後李王家より讓り受けたる古書其の大部分を占め居れり其の冊數實に十幾萬大に參考に資すべし又昨今李朝の初期時代より四五十年前迄の法典ヶ類を譯しつゝあるが完譯の上は之れ又取調上益するところ大なるべし云々と鹽川事務官は語れり

●鹽人蔘生產高 開城の人蔘は昨今收獲時季に屬し本月一杯を以て製造を終る筈なるが本年の生產高は一千五百斤の豫定なる由成績良好のため倍加の生產を見るべく而して此の價額は倍額と見て十八萬九千圓にて拂下者は三井物產會社なるが同會社の拂下契約は四十六年迄なりといふ又廣梁灣及び朱安兩鹽田に於ける天日製鹽は本年の生產高は既報の如く廣梁灣三百萬斤朱安百五十萬斤此價一等二百七十萬圓二等二百五十萬圓なるが朝鮮全鹽に於ける一ヶ年の消費高は約三億五千万斤にして內朝鮮に於て生產するもの二億五千萬斤他の一億萬斤は日本內地關東州及び臺灣よりの輸移入に係るものなりといふ

●東拓土地買收方針 東拓會社の土地買收に就ては會社に直接關係無き仲介者を要したるも其結果餘り良好ならざるのみならず夫れより各種の弊害を醸生するの危惧もあることなれば過般來方針を改め土地買收に關しては總て同社員又は准社員に於て必ず行ふこととし從前の如く仲介者を使用せざることゝなしたる爲め之れ迄地方派遣の社員七八十名なりしが現在は著しく增加し正准社員を合せて二百名以上に達せりと

●各道經營の苗圃 九月十日現在本年度地方費經營に係る(全羅北道黃海道を除く)京畿道外十道に於ける苗圃の箇所七十六ヶ所にして總面積四十五町四反四畝十五歩なりと

●本年配布の種子 今春來國費支辨として無償にて各道に配付したる種子の總石數二百四十九石三斗五升にして之れを各種別に記さんにクヌキ百九十六石七斗三升栗四十五石七斗一升ニセアカシヤ六石六升赤松七斗カラマツ一斗ヤマハンノキ五升等なりと

●人蔘收納製造終了期 目下開城なる專賣局蔘政課にて施行中なる人蔘の收納檢査は本月十四五日頃にて終了すべく又製造は多分月末頭に終るならんと云ふ尙上林專賣局長は現狀實視のため當月中は殆んど出張し居るとの事なり

●伊土戰爭と日本の財界 淺野三井物產支店長談 伊土戰爭の爲に今日迄ロンドン財界に影響したりと見るべきものは土耳古公債暴落の外更になしと云ふも得可し十年前の伊太利なれば財政窮乏して巨額の外債を負擔したる狀態にありたれば財界に與ふる打擊は多大なりしならんも今日に至ては左迄影響なきものゝ如し 日伊間の商業は片貿易にして日本の輸出するものは生糸の千五六百萬圓を主とし羽二重五十萬圓米穀二十五萬圓等總計二千萬圓內外を往來し居るも之に對する輸入は五十萬圓位に過ぎず此等の貿易品も戰爭の爲影響を蒙る如くは見られども若戰局が擴大さるゝか又は長引くに至らば多少の損害は免れざるべし寧ろ間接の結果として伊國がロンドンに公債を募集するに至らば既に引縮の傾向を示せるロンドン金融界を一層逼迫せしむべく爲に我東京市債及舊債決濟資金の補充として當面の必要を感じつゝある外債募集に一頓挫を來す憂ある事之なり此點に就ては當局の早くより既に苦心し居る處なるべく何等か應急の研究あるべしと思ふ海運業は全く影響なからん今日海運業の盛大を唱ふるも實はシンガポール以北の航路を我國人の手に收めたる迄にて地中海には郵船會社の命令航路あるのみ云々記者は辭するにわたり商議會頭問題を質したるにソハ本社の意向によれば他に適任者多かるべければ一應辭したる方可からんとの事にて辭退したりと答へられたり

●京城府廳と徴收 京城府廳の管轄に屬する五部八面の税金は本年五月部面の機關設置以來各部面をして徴收せしめつゝあり夫れ以前に屬する滯納及び未納の分は府廳直接徴收しつゝあるが此の税額約一萬圓あり本年度中には徴收の豫定なるが之れにて以前の税金は全部徴收の都合なりと

●道路擴張建議書提出 京城民團道路擴張及開鑿に關する建議案は古城民團長之を携へ五日京城府廳に出頭提出したり

●內地市街地徴税調查 內地に於ける各都市の徴税狀況は京城其他各府等の徴税事情に參考するもの多なるを以て今回京畿道財務部長櫻井小一氏は右調查の用件を帶び三週間の豫定にて明六日出發東京橫濱へ出張すべしと

●牛皮輸出の競爭 京城に集中する牛皮は其額多大なるが從來殆んど內地移出に過ぎざりしに昨今在留支那人にして牛皮の買占めをなすものあり稍大規模に買收して安東縣に運送しつゝあるが九月頃は最も盛んなりしと云ふ而して內地移出は殆んど共益社の獨占にして昨今清人買占めのため價格騰貴し買入れに競爭の姿なるも遠からず共益社方面は大に活動して清商を厭するに至るならんと因みに內地の牛皮は昨今稍價格下れりと云ふ

●朝鮮煙草株拂込成績 京城に於ける四銀行にて取扱たる朝鮮煙草株式會社第一回拂込總額は五日午前中迄にて四百五十株なりし

●朝鮮煙草會社今後 同社は五日を以て第一回拂込を〆切ると共に東京に於て創立總會を開き來月頃當地に營業所を設置すべく實際葉煙草を買入れて事業開始するは明年に至らんか同社設立に就ては一部發起人の異動などありたるも一般申込の分は五六千株も超過し目下順調に進行しつゝあり、而して製造煙草は主として朝鮮葉を用ひ鮮人向きのものを造り追ては調合を研究して上等品の供給を始むべしと發起人中の一人大村保太氏は語れり

●大規模の鯖漁 下の關小玉兵は母船(漁船)三隻漁船約二百隻及運送船數隻を艤裝し元山致弓及長箭の三港を根據地とし近海に於て鯖釣漁を計畫し其の規模頗る大なり然れども目下の漁獲高は一日一隻僅かに五六尾乃至十數尾に過ぎざるも鯖漁期に入らば一隻平均五百尾以上に達する見込にて漁獲物は冷藏庫の設備ある運送船に搭載し下の關に移出する計畫なりと云ふ

●政務總監引籠 山縣政務總監は微恙の爲め引籠り加養中なり

●參謀長の大演習觀戰 十一月肥筑の野に擧行せらるゝ大演習に軍司令部より柴參謀長軍を代表し觀戰せらるゝ筈

●明石警務總長出迎 寺內總督歸任に就き明石總長は來る七日釜山まで出迎の筈なり

●大西軍醫部長檢閲 大西軍醫部長は北鮮部軍隊醫事查閲の爲め四日部の醫員を隨ひ當地發約一箇月間の豫定にて元山に向ひたり

●藤波通譯官出迎 藤波通譯官は來七日寺內總督出迎の爲め釜山に赴く由

●藥師川警務部長巡閲 藥師川警務部長は四日江華島の巡閲を終り五日午前五時仁川に至り直ちに警察署に入り六日七日の兩日定期巡閲をなし八日朝歸京の筈

●青木書記官の出張 山林課の青木書記官は北海道に於ける森林狀況調查のため東京及北海道へ出張を命ぜられ來る十日頃出發すべしと云ふ

●岡崎專務の歸京 東上中なりし岡崎瓦斯電氣會社專務取締役は四日夜歸京したり

●仁川鮮人信用組合認可 既報の如く仁川に於ける有力なる鮮人數十名にて信用組合を組織金融機關を利用し汎く殖產工業の福利を圖らんと企畫し其筋に認可申請中の處漸々認可せられたるより五日發起人總會を開催し直ちに營業に從事すべしと云ふ

●江原道の農作 江原道各地方は初夏來氣候順調を呈し作物の發育良好にして平年に比し約三割增收の見込なり農民は四十年來の農作なりと歡喜し居れり

●慶北尙州の害虫 慶尙北道尙州郡地方の稻作は平年に比し約三割增收の見込なりしが過般來天候不順の爲め螟虫發生し被害尠なからず目下驅除勵行中なりと

●鹿島農林學生の入京 鹿島高等農林學校生徒二十二名は同校職員に引率され修學旅行として六日午後七時入京の筈につき京畿道廳及京城府廳にては夫々案內教示すべしと云ふ

●鏡城郡の道路改修 咸北鏡城郡內各洞民は朱乙溫分遣所員監督の下に生氣嶺、永康嶺間延長七里の道路を巾二間半の完全なるものに改修せり

仁川港出入船舶

▲大有丸 六日大阪より入港
▲福州丸 同 同
▲安東丸 同 長崎より入港
▲蒼龍丸 同 芝罘より入港
▲漳州丸 同 橫濱より入港
▲群山丸 同 大阪へ向出港
▲晉羽丸 同 橫濱へ向出港
▲安東丸 同 大連へ向出港

▲京城手形交換高▼

十月五日 金高 一七八、六八八、二八〇 枚數 五一五

▲治外法權▼

過日桂公が葉山から新橋驛へ歸着すると、總理在職中なら數百の有象無象が出迎するのであるが、浪人中の今日、其出迎者は竹島とか云ふ大博の役人一人であつたソウだ、世は中々に現金なもの、ダカラ俗物には到底權勢が思切れぬ▲ソレと之とは違へど記者は過日ジヨルダン博士が着いたときに出迎へ、亦たタタれるときに送つた、而るに停車場に於て此けるソレに比して意外な程で、我京城の官民が學者を重視せざる不業の不用意を暴露したるには非ずやと思はしめた▲官吏とか、政治家とか云へば碌でもない人間が來ても停車場は迎送者で一パイになる、而るに彼、篤學の聞ゆる人類學の泰斗鳥居龍藏が來たときなどはミヂメなもの停車場の迎送者は殆んど皆無と云ふ有樣であつた▲出迎や、見送りや、禮の意味を以てすべし、權勢阿附の意味を以てすべからず、在職中と否とを區別する如きは陋の陋たるものだ▲民團廢止後の內地人團体案は總督府取調局より已に三回ほど拓殖局へ廻されたのであるが、何れもペケになつた、トコロで今度第四回目が廻されると云ふが、之亦たペケの運命に逢されねばよいが▲例の朝鮮瓦斯會社も難產中に成立するとの事だが、サテ營業が發企者の見込通り行くかドーか▲本町筋街路の擴張も民團の建議豫算に登つたところを見るとドーヤラ實際問題になつたようだ、泥濘の興廢此一事にあり、有志者は宜敷本建議し通過に勉むべしだ▲近日の中に決定を見ると云はれた、京城商議會頭のまだ決定せぬのはドー云ふ譯か、ソレとも賴まれたと云ふ市原がネーツてでも置くのか。



●京城樓の卅分（二）　白面子

長門屋の顔を見ると女將さん『縁起の悪い人が來た、アノ此の人に世話して貰つた笑子と云ふのは只の三度れ客を取つた許りで前借金三百八十圓を御佛前に供へて終つた』と毒突く、長門屋はと見ると異樣事で兵古垂れ相にもなく縁起直しに伺ひましたので』と揉手をしいニコ〜笑ひながら『實は今日は其して居る、此の時白面子は口を入れた『口入屋さん景氣は何でうすか僕に一つ妾を周旋して呉れないか』と言ると妾と云ふよりは韓妾になら今でも伴れて來ます』と云ふ『龍山と云へは桃山玉川樓の茶羅子は賣れる方かしら』と問題を横に向ける『御承知の如く御當家（京城樓）に居て後大田へ鞍替へしたのですが玉川樓には前借金八百圓で私が入れましたので當分は拔けますまい敎機女とは思ひませんでしたに……』と泣云つて口を噤む『其茶羅子の丸髷姿を京城に見た誰かに落籍されたんぢやないか』と不審すると『イ、エ桃山には派出所が無いので夏なぞは和歌の浦邊迄散歩に出るのは結構ですが其爲めに肝腎の遊廓に客が少ないことになるのです樓主連も入金氣云ふのですが樓主方の御心配は一通りではありませんよ』と口入屋君『スルト新町の妓樓は可憐相だね』と僕は口入屋君とは反對の方に同情する、此時京城樓の主人は『口入屋さんの姓は……ウム山本さんか、舍名は立盛舍だつたね』と云ふ『山本と云へは中の新地に居た達子の色男だナ』白面子が露骨に言るが否や山本の顔色はサツと變つた『貴許は新報社の○○さんですね奥村さめの事で散々書かれた當時が何日か一度は復讐をと思つて居ました』と鼻息頗る猛烈だ、僕は喧嘩と來ては鍋廿藷で酒を呑むより嫌だが事既に茲に至る『面白い買はう』と云ふと山本は急に手を掉つて『誤解して貰うと困ります、アノ奥村さめと云ふ奴には實は私は酷い目に會つて居たと云ふ事は後に知つたのでスツカリ彼奴に欺されて一時は貴許方を怨んで居たと申す打明け話』と仔細を語る山本は猶『彼の事以來自分の行り口の間違つてるのに氣が注きまして一應大阪に參つて又歸つて參りまして今度は乾度手堅く行りますから御覧を願ひます』と云つて主人の方へ一枚の寫眞を差出し『此妓は桃山一樂で稼を張り通して居るのですが新町に鞍替が爲たいと申してるんです、エ、前借は六百圓で』と云ひ出した、時計を見ると午後六時十分、ソロ〜邪魔になる時間だ又來ます（終）

●右女助の芽出度

▽禍轉して福となる

『妾が死んだとれ聞でしたら以前の変情に線香の一本もれ手向下さいまし』と泣き伏したる女の背を撫で下し居たる鄭さん、一旦の勢で右女助を梅吉に乘り換へは爲たものゝ此れ決して右女助に厭氣がさしての事でなく全く梅吉が給仕で一膳食べたが腐れ縁でツイ彼成つた次第にて右女助に未練は存分ある然ればこそ此の一幕も出た譯なれば今此の右女助の泣き落しに逢つた鄭さん腹の中は黄なくり返る樣、思ひ定めて涙をホロ〜と溢して『一切万事を俺に任せる氣は無いか、有れば自由の身にして何不自由なく生計させもしようし又、情夫が有つたら添はして遣る死うと云ふのは惡い量見』と由良さんの言ふ如な事を云つて呉れる頼母しさに涙の顔を振り上げた右女助『ソリヤ眞實で御座んすかい』と嬉し相にニツコリして男の膝に縋つて『ダケド夫れでは梅吉姐さんに濟まないワ』と今泣いた口に口說が出る、鄭さん矢庭に手を振つて『大丈夫決して心配要らない』と前置をして語る所に依ると梅吉を落籍して兩人伴れの大阪行、其用件はと云へば花柳病の療治の爲め、其療治も濟んで梅吉には寶塚に藝妓の置家を出させ置き自分が此方へ歸ると間もなく金を送れと云つて來る送つても送れと云ふ餘りの事に愛想が盡きたから見棄てゝ終つた、と云ふ位の事は右女助トウに承知ながら『マア何んて姐さんの薄情な、私、今度と云ふ今度はモウ堅く貴郎一人を守つてよ、死なうと迄に思ひ詰めた所を助けて頂いた御恩があるんですもの』と特殊な事を申すに再情約は互に芽出度締結されて『右女助は來暦に侍らす可らず鄭香りは晝夜共に燻べられる丈け燻べろ』借金の千百七十三圓は近々智島問題解決すれば十萬圓は手に入るから其内にて支拂ふべし、夫れ迄は大切に保護を加ね置くべし』と二十日まで居續けの同日の終列車で一旦釜山へ歸ることゝなるや太田迄見送れる右女助と仲居一名を伴れて御出立ありしが太田でも別れ兼ねて釜山の鳴戸旅館で甘い夢を出して居た所へ休み合したのが市原鮮銀總裁、佐竹義準男の二方、物臨より夫れと見たる右女助は何うした次第か出るには出られず小便さへも思ふに任せぬ憂目と見た、其代りには近日中赤の飯に魚添ねてシヤン〜〜と〆子の兒、右女助が丸髷の因縁から〜〜ザツと斯の通り（終）

●秋季種痘施行

六日より左記日割に依り秋季種痘を施行すべく下の事項に依り警官一般之れを督勵すべしと

一、生後九十日以上の未種痘者二、初種痘不善感後五年を經過したる者三、種痘不善感の者四、其の他種痘希望者、但し種痘區域を定めあるも當日病氣其の他の事故に依り差支ある者は施行中何れの塲所に到るも差支なし

▲種痘日割

▲十月六日（南山町本願寺別院）旭町三、四丁目、南山町全部、倭城臺、壽町一、二丁目▲十月七日 南山町本願寺別院）明治町全部 曙町、永樂町一丁目、黄金町 本町二、三、四丁目▲十月九日（旭町歌舞伎座）旭町一、二丁目、相生町 米倉町 北米倉町、羽衣町、長谷川町、南大門通一、二、三丁目、及同三丁目の裏通 本町一丁目、及同裏通 漢江通、岡崎町▲十月十日 旭町歌舞伎座 御成町、古市町、蓬萊町、三阪通り、西大門通、獨立門通、和泉町、太平町 以下次出）

●利得金横領費消

愛媛縣越智郡宮浦村當時京城古市町三丁目百十九番戸請負業藤原龜太郎（三〇）は御成町百十二番戸皆川祭治と共に去る七月一日より東洋商會なるものを設立し請負業を初め損得共半等負擔の契約にて事業に着手したる結果仁川稅關京城出張所内に於ける工事を請負ひ利得金百四十三圓の分配金を横領費消したりとて告訴され南部署に於て取調の上一件記錄を檢事局に送らる

●迷信から實子を殺す　江原道金城郡梧山面居住朴正守（二四）及次女（四つ）は共に去る七月中熱病に罹りし處朴は一家内に同時に二名の患者を生ずる時は一名は必ず死すへしとの迷信より其妻文氏を敎唆して病中の次女を殺害したること發覺し淮陽憲兵分遣所に於て文氏を逮捕したるが朴正守は其後間もなく病死したり

●京城禁酒會月次講演會　京城禁酒會にては（旭町二丁目名古屋城）メソヂスト敎會に於て十月六日午後七時半より月次講演會を開き米國工學士山崎國藏氏の『文明國の基礎』なる講演あり

●催促されて亂暴　西部阿峴二百二十七統三戸金興植は阿峴三湖洞三百四十三統六戸石攀玉より煙草の賣掛代金一圓四十錢を四日早朝より催促されしとて同人を毆打負傷せしめ西部署に於て取調中

●俺は刑事巡査だ　龍山元町四十七番戸大工金容文（ヨ十）は四日午後六時半頃蓬萊町鐵道線路内に於て鐵道員に對し刑事巡査なりと詐稱したる爲め目下取調中

●仁川の拾得　仁川仲町一丁目大和組内山崎源次郎は四日午後四時稅關埋立地に於て金六十四錢五厘革財布入を拾得届出

●正誤　昨紙所報『殺人巡査公判』記事中被害者吉田龍郎は陸軍中尉にして社會主義者の如く記したるは誤りにて彼れは元陸軍少尉なりしが不品行の爲め諭官されたるものなりと

●科料　米倉町三十二番戸貸家業三好和三郎氏は九月三十日より其筋の撤許を受けずして漢陽公園昇口道路に面したる塲所の道路を取崩し石垣工事を爲したる爲め告發され過料金一圓に即決

●喧嘩　西部仁達坊内需洞二十六統五戸申景澤（五九）は酒幕金召史方に於て飲酒中北門洞十四統一戸李聖根と喧嘩し同人を毆打負傷せしめ西部署に引致され目下取調中

●久保誠心堂の開業　繪畫額縁專賣の同店は今般明治町一丁目に開店し實直を旨とするを以て開業日淺きにも不拘非常の盛行なりといふ

●演藝だより

▲壽座　後藤良介一行六日の代狂言は五日と同樣一番目故尾崎紅葉子作『ぬれつばめ』二番目が村井絃齋子の作『深山の美人』なりと因に此の深山の美人は後藤良介が先年自ら脚色し初めて舞臺に上げたものゝ由なれば取り分け大得意の演し物なり

▲歌舞伎座　好評のエムパテーの活動寫眞は六日より特別の大勉強を以て特等席を除き行次第にて大人二十錢小人十錢となしたり

▲浪花館　吉川今勝一行の浪花節六日の番組は左の如し　藥師綱（勝丸）義士傳（孤舟）後藤三代記（樂園）水戸仁政錄（光廣）春日野若子、軍事探偵（今勝）

▲御成座　片岡鶴之助一座の浪花節芝居にして每夜好人氣なりと

●李王殿下と活動寫眞

目下歌舞伎座に於て興行中なるエムパテー活動寫眞の映畫は斬新鮮明にして大好評を博しつゝある事とて昌德宮殿下の御聽に達し五日夜御覽に成るべしと因にエムパテーの活動寫眞は曾つて舊韓國時代には御臺覽を賜はりたることもあり重ね〜〜の光榮と云ふべし

日本官製煙草大賣出
景品一千圓
敷島　大和
芙蓉　朝日
九月十九日より十月三十日迄

●壽座の平凡劇私評

初日よりは二日目二日目よりは三日目と尻上りに觀客を引き寄せてる後藤良介一座四日目の演し物の『觀音岩』と『金色夜叉』切笑劇『手管』とを觀に行く、僕は京城の劇塲は毛少し大きくなくては不可ないと常に思ひも云ひもして居る、座の管理人たる櫻井君は云ふ改築工事の計畫中だと、結構である、僕の見た所では觀音岩では松下の樋太娘れとよ役始終盲目の必を亡はずして上乘の出來、後藤役娘、權太役藤としては普通の出來、藤野役金色夜叉の宮山唯繼序幕上出來、梅林の塲は輕きに過ぎたり相殺して中の上、深津役れみやの母、此れと云ふ見せ塲もなければ全体に可、北子役みや後藤役貫一と共にアノダレ塲の熱海海岸の塲を引き締めたるは感心、平田役鰐頭御苦勞、後藤の文句ちやないが金色夜叉は讀んで面白くて舞臺にかけては損な作物だ、切の笑劇にては北子役半玉豆吉は輕妙雪岡役の福德屋、藤野の若旦那、松下の藝妓小夫共に大勉强觀客は大滿足、津輕伯夫人同伴にて來られた、平民よりも平民的なる貴族は始終滿足氣に見受けたり（ぼく）

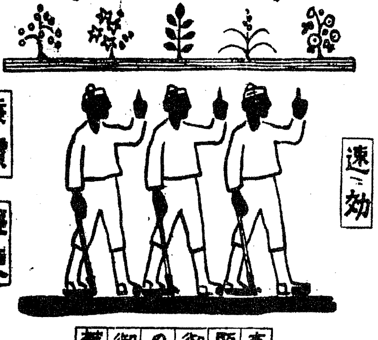


▲野崎さんはれ氣の毒ですがアレは不可ません（係）▲拜啓貴紙十月一日第七百八十三號三面に弱い者苛めと題し小生が燒栗賣梅聖文を毆打云々とあるも小生は仲裁したる迄なれば御取消下されたい（旭町三丁目四五新井政太郎）▲通信生）▲桃山の八千代は好さんの腰辨と先月末に喧嘩をして今では心配してる（明治町一商人）▲去る一日の小學校運動會はナカ〜〜盛んでおつた愉快に一日の日曜日を遊んだ殊に辻雨亭の賣店にビール二十錢サイダー十錢の安賣、ルヤサイダーを提げて行て反て風馬を見た營利を放れたやり方は流石は大商店だ感心だイツモ運動會にはそんな便利な賣店が望ましい又今度の運動會には雜人の出入を禁じた横山校長用意周到には感服した（運動好生）▲どうしても湯屋は日本人の經營に係るのが氣持ち能く入浴することが出來る都湯浪花湯壽湯大和湯等は朝湯も水も澤山なるが朝鮮人の經營に係る櫻井町の櫻湯戎湯は朝湯もなく湯も水も少なく爲めに入浴客も少なきに付兩主人共日本通赤戎湯ゝ斐對は日本人が付他の湯屋を見て勉强しなさい（櫻井町住人）▲雜誌富の朝鮮が又は新半島昨年九、十月御持合の御方は御讓り願はれませんか御讓り下さる御方は下名へ（日韓書房内遠藤生）▲小生飼養の愛犬（當年生）前兩足共横に曲り歩行不充分なり昨今は後足も漸次曲氣味に有之が全治の方法なきや御存の御方は當欄にて御明示被下度（軍鴻緣生）▲九月二十八日の貴紙文庫欄に若草町に住む○○○の院の書記伊藤猬虫と云ふ人のことが書いて有つたが此樣な事は何でもない某通信局の技師で下女を二人置いて外見上奥樣に下女と云ふ樣に見せて堂々として高等官々舍に居住し上官を欺いて居る▲尤も實際は下婢は二人とも夜は奥樣の代理的に特殊の寢仕事をして居るので此の頃は二人とも睨み合で今に一騷動起りつゝである▲爲めに二人とも外出用は皆な常備してある小使をして辯じさせ公然も甚だしい上官殿御存じなくば素破拔きましようか（目擊生）

●諸公債諸株券現物賣買、迅速確實に御取扱可申候
兼業 京城本町三丁目
大阪野村總七代理店
田中友吉商店 電話九三九 電略（タ）

◆用法は作物の名を示し下記へ御照會◆

朝鮮畑作物のためには
窒素肥料 智利硝石



廉價　輕便　速ニ効

本肥料販賣店御不明の際は御照會被下度候

◆◆智利硝石普及會東洋本部◆◆
東京市麹町區馬場先六番
電話本局二九八九

健胃下腹丸（けんいかふくがん）

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九百四番◎千六十八番 振替口座京城十六番

飲みすぎ食ひすぎより
ピットル散
本舗 大阪市江戸堀 猪飼史郎 各藥店ニアリ

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九百四番千六十八番 振替口座京城十六番

御待兼の新栗製
栗羊羹　栗饅頭
和洋菓子舗 京城本町 貞島寒水堂 電話一四一番

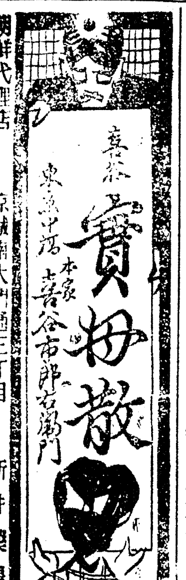
名譽銀牌受領
キリンビール

緊急廣告
今般諸原料騰貴に付來る十月十日より總て一割方値上げ仕候條此段廣告候也
京城菓子商組合
同 龍山支部
同 餅屋一同
各位

獵銃 獵具 火藥
増戸銃砲店 京城本町六丁目

腸胃新藥
タカヂアスターゼ
東京三共合資會社朝鮮總代理店
仁川本町 竹田津三平

建具製造販賣
◎襖材料卸賣並ニ襖製造
◎仕入レ建具類及ビ附屬品各種
◎簞笥類各種
建具製造 襖材料卸 商 三好市太郎 京城南大門外御成町 電話五九六番 振替口座京城二九七番



朝鮮代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房

●諸公債諸株券現物賣買

公債 株券 現物 買 賣

定期株米仲立業
京城明治町一丁目 西村商店 電話一七二六番 一九二七番
龍山本町三丁目 西村出張店 電話一二〇番

家庭用 工業用 洗濯石鹼
アイランド浮石鹼
マップ
（其他）豚脂◎馬脂◎牛脂◎鯨油◎保革油・・・
荷造用◎洋チャン◎椰子油
工業用諸油製造販賣
京城旭町二丁目 朝日石鹼製造所 電話九七三番 振替貯金番號京城四〇〇番
兼業 既製洋服卸小賣 官衙御用達

世界一のかぜ藥



全國藥店にあり
蛇印（じゃじるし）
アンチピリン丸
ねつ・はやりかぜ・づつう りうまちすに大効あり
藥價 五戔・十戔・十五戔・廿五戔
發賣 大阪心齋橋二丁目 丹平商會
本舗 東京日本橋區通油町 丹平商會

代理店 京城 新井藥房 電話九〇四番一〇六八番 振替口座京城十六番

千葉縣野田町 茂木七郎右衛門醸

醸造の進歩

東京時事新報記者が東京野田間輕便鐵道開通式に參列し野田醬油醸造の實況を視察し且報告を野田町の發展と題して本年五月十四日より同廿日迄紙上に連載したる其中に曰く人口一萬足らずの土地に醬油醸造家十一軒にして職工四千人の多數を有し最近一年間の產額三十二三萬石其中產額の最も大なるは茂木七郎右衛門氏の木白（キハク）にして之に次くは茂木佐平治氏の龜甲萬（キッコーマン）以下八軒（各氏名略）製法の研究の順序なりと云ふと記し尚醪（モロミ）を容るゝ桶は高さ六尺乃至八尺に餘る大桶幾千本の醪を毎日三四回攪拌するに人力にては到底隅々まで行渡らざる處あるを以て木白にては空氣攪拌機とて空氣の力にて桶の底に導き空氣の力にて攪拌する裝置を爲し頗る良好なるを以て各釀造家何れも皆此例に倣はんとて目下準備中なりと聞くと差し當本全國の模範醬油に野田にして野田醬油の木白なるもの一般の定評たるを確保し模範醬店に一合瓶入無代進呈の準備あり御試味の上品位の高批を得は幸甚



京城特約店 京城明治町一丁目 牧野豐田商店 電話二百五十三番

元祖 食パン
菓子パン アンパン各種
總督府各官衙御用
陸軍御用
製造御小賣商 京城太平町二丁目 相川兄弟商店 電話一一八九番
釜山富平町一丁目 相川兄弟商會支店 電話二七六番

酒精アルコール
●新荷着
仁川花町一丁目 坂倉支店 電話六五〇番 電略（サ）

新荷着
厚物 薄物
浪板 平板
鐵板各種
各種 垣用線
和洋金物商 京城本町貳丁目 佐野彦藏商店 電話一六三番 振替口座京城一二〇番

資本金 壹千萬圓
積立金 六百貳拾萬圓
明治六年設立
株式會社 第一銀行京城支店
京城南山町三丁目
電話一二番 六二二番 振替貯金口座京城一二一番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

廣告
今般北部典洞（鍾路北裏）に集產場開設野菜果物雜貨海產物等の賣店開始仕候
◎追て開店御望の御方は御申込被下度候
中央集產市場事務所

◎誠ハ弊店ノ主義也



醸造元
仁川港宮町三丁目
深見勝三郎
電話二四八番 電信略號（フ）

齒科治療
本町六丁目（警察署横町）
ドクトル 中村安子
女子見習募集委細面談
（電話一五八三）

水車唐箕製造販賣
京城明治町百七番戸
土井米吉工場 電話千三百二十六番

牛馬犬猫 治療所
入院隨意
京城明治町三丁目
院長 小川家畜醫院 小川龜太郎
（電話四二七番）

最上醬油
特約販賣 仁川宮京城 雄支店



奥様達が
寒くなったと御心配になる
綿類蒲團の準備は如才なく整って居ますから
人は半生寢て暮すのですから
呉服類は
確實に免税品のみを取扱って價格は充分低廉に綿蒲團の御評判に劣らぬ様に働きます是非共御來店の程願ひます
商品切手發賣 御進物として最も御便利で御座います
地方の御注文は迅速確實に御發送致升
京城明治町二丁目（電話一六一番）
唐川呉服店

入院隨意
京城西小門通六番戸
菅醫院 電話一三二五番

勿驚破格大勉强
御料理向

特製 寶味噌

味噌製造漬物問屋 たからや 仁川本町三丁目 電話七三七番

芙江公州間定期出帆
芙江發毎日後一時四十分公州着後六時
公州發毎日前七時芙江着後四時半船內
御客樣の娛樂用として新聞雜誌碁將棋盤等の備付あり
京釜芙江驛前 中條運送芙江支店

キ 十月中 瀛船出帆廣告
安東丸 鎮南浦行 十月七日前七時
天草丸 海州行 十月八日前八時
盛京丸 甕島行 十月七日前二時
海利丸 海州行 十月六日前時
成歡丸 大湖芝行 十一月日前時
仁川本町四丁目 電話一七三番七五〇
合資會社 秋田商會船舶部